

《第113回》 城南校区2町内子ども会（1）

「子どもたちによる子ども会活動の取り組み」をめざして

7年度育成会長 藤木 波奈

（R7/3） 今まで、どちらかというと、大人が子ども会活動を運営することが多く、熊本市子ども会育成協議会のHPへも、大人が投稿していました。

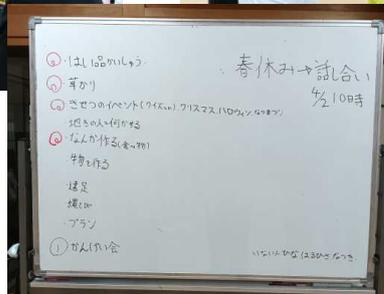
令和7年度、城南校区2町内子ども会は、子どもを中心に活動を進めてまいります。

先日は、新6年生の中からの会長、副会長、その他の役割を決めて、この1年間何をしたいかを話し合いました。

地域の高齢の方が、ゴミが重たくて資源ゴミをゴミ置き場まで運べないというお困りの声も知り、廃品回収をやりたいと子どもたち自ら意見を述べて、この1年間何をするのかを決めていました。

新6年生10人を中心に活動を進めてまいります。そして、今後のHPへの活動報告も、子どもたちにまとめてもらい、子どもたちの言葉でお伝えいたします。

1年間どうぞ宜しくお願いいたします。



〈事務局から〉

事務局長 白石和典

- ① 投稿有り難うございました。今回も含め、今後の子ども会活動運営の方針は大変素晴らしいです。敬意を表します。市子協はスローガンとして、「子どもによる 子どものための 子ども会活動」を掲げています。正にその取り組みをされています。子どもたちもこの様な取り組みを経験することで、素晴らしく成長すると思います。活動の達成感、充実感を味わうものと思います。
- ② 市子協総会時、一昨年「子どものやる気を引き出すために大人ができること」、昨年「子どもの『やってみたい!』をサポートする大人の役割」のテーマで講演された関西大学次世代博士研究員：東海大学非常勤講師（現在は熊本学園大学講師）の田中晶子先生が、「動機づけ（やってみたい）を高める3欲求」について話されました。自分で決めた！「自立性への欲求」、達成感があった！「有能性への欲求」、お友達と一緒にやった！、大人が見守っていた！「関係性への欲求」という内容でした。今回の活動は正にそのことが当てはまる活動だと思います。
- ③ 城南校区2町内子ども会の益々のご活躍と、子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。